

令和4年度第1回旭川市スポーツ推進審議会 会議録

日時	令和4年8月30日(火) 午後6時～午後8時	
場所	旭川市神楽3条6丁目 神楽公民館 第3学習室	
出席者	委員	8人(敬称略:五十音順) 飯田委員, 大城委員, 武田委員, 富田委員, 永瀬委員, 古川委員, 古高委員, 森峰委員
	事務局	5人 スポーツ課(松田課長, 加藤主査, 大野主査, 佐藤, 西田)
欠席者	委員	2人 池田委員, 中澤委員
会議の公開・非公開の別	公開	
傍聴者	(1)市民 0人 (2)報道機関 0人	
議事	1 開会 2 議題 (1) 副会長の選出について (2) (仮称)旭川市スポーツ推進計画について (3) その他 3 その他 4 閉会	
会議資料	資料1-1 旭川市スポーツ推進計画について(概要) 資料1-2 旭川市スポーツ推進計画について(策定進捗) 資料2 策定スケジュール 資料3 運動・スポーツに関する意識調査(市民アンケート)結果 資料4 第2次旭川市スポーツ振興計画の評価 資料5 旭川市スポーツ推進計画(素案) 参考資料 旭川市令和4年度運動・スポーツに関する意識調査(市民アンケート)集計結果	
議事内容等	発言者	発言の要旨
1 開会	事務局	委員2名が欠席の旨を報告 委員2名の変更について報告 事務局新体制の紹介
	委員	新たに就任された委員挨拶
	会長	会長挨拶
2 議題 (1)副会長の選出について	会長	議事第1号「副会長の選出について」事務局から説明願います。
	事務局	副会長の退任により, 副会長を互選で選出する旨を説明。
	会長	ただ今事務局から「副会長の選出について」説明がありました。意見や質問等がありますか。
	委員	(発言なし)
	会長	意見がないようなので, 古高委員を副会長として推薦します。
(2)(仮称)旭川市スポーツ推進計画について	委員	了解。
	会長	では, 古高委員は副会長席に移動してください。
	会長	議事第2号「(仮称)旭川市スポーツ推進計画について」資料1から4までを事務局から説明願います。
	事務局	(資料1から4までの資料に沿って説明)
	会長	ただ今事務局から資料1から4までの説明がありました。意見や質問等がありますか。

委員	他の計画について携わることがありますが、計画を作って評価して終わりという形だけのものが多いです。現場とどう関わっていくのか計画が意味あるものにしてほしいです。誰のための計画なのかというところが見えづらいと思います。
会長	作って終わりだと意味がありません。今はスポーツ実施率を指標にしていますが、指標に結びつくイベントの数や参加者などそれぞれのところで評価していくのが大事。計画して、やってみて、また計画してと繰り返して良くなっていく。計画を実現するための予算もどれだけつくのでしょうか。
事務局	おっしゃるとおりで計画の実現のために予算を確保し、事業執行をしていきます。皆さんのやりたいことを、計画にどんどん書いていってほしい。計画に書いてないことも必要ですし、予算化できない部分も皆さんと協力してまいりたい。
会長	評価の指標になるものがあれば、どんどん出してほしい。こんなことをしたい、これは必要かなど。また、新しい計画の位置付けですが、第3次ということでしょうか。振興計画から推進計画に名前が変わっただけということですか。
事務局	条例に基づく推進計画であり、新しい計画となります。
会長	今までと違うとのことですね。事務局から新計画の素案である「資料5」について説明願います。
事務局	資料5に基づいて説明。
会長	ただ今事務局から資料5の説明がありました。順に意見をいただきたいと思います。
委員	部活動の地域移行について、現状では進んでいないし課題も多い。まず土日を地域に移行してから徐々に移行していくと思いますが、様々な問題があり非常に懸念しています。指導者、場所、会費などの費用の問題など色々な課題がある中でどのように進めていくのでしょうか。
事務局	同じ課題を認識しています。平日と土日で指導者が変わると子どもはどう思うか。中学校では上を目指す子どもが多いので、良い指導者とのマッチングをどうするか。中学校では運動が得意な子が運動部に行くと思うので、苦手な子にもスポーツの楽しさを知ってほしい。例えばニュースポーツなど手軽にできるスポーツを取組に入れることなども検討しています。
委員	指導者もサッカーはいるけどバドミントンはいない。一気に移行するのではなくやりやすいところから進めて、競技や地域性を考えて徐々に移行するのが良い。スポーツが好きだと体育授業だけで完結してしまい、放課後にはスポーツを行わない子どもがいる。地域と連携した取組を進めてほしい。
会長	部活動は課題が沢山あるため、逆に関係機関が連携するチャンスであるとも捉えられます。重点3のスポーツの担い手など今までとは全然違った視点が入っています。では次の委員に意見ををお願いします。
委員	楽しむスポーツとして、総合型スポーツクラブではニュースポーツを含めて地域で取り組んでいます。緑が丘地域では卓球やバドミントンは人口が増えてきています。まず気軽にできるスポーツや色々なスポーツに触れてほしい。子どもの頃にスポーツは楽しいものだよってしないと、大人になってもスポーツをしなくなる。課題は指導者問題で60歳で指導を始めて10年経てば70歳になる。後継者もないということが起こる。指導者の高齢化に対し、後継者をどう育てていくかが大事。私自身もポッチャも購入したが、テレビで見て知っている程度です。指導できるぐらいまでにはなりたい。
会長	総合型であれば、冬の間だけ卓球してみるなど色々なスポーツに触れられます。
委員	末広とかも頑張ってるみたいですね。とにかく継続することが難しいようで、どうしても衰退していく傾向にあります。
会長	指定管理者などを上手く活用したいですね。
委員	緑が丘も最初は住民センターでした。
委員	色々な競技を教えることができるような、中心となるすごい人がいると、どんどん参加者が集まってきます。
会長	そうですね。先ほどから話題が重点3ばかりなので、他の意見もほしいです。では次の委員に意見を伺います。
委員	地域単位で市民が参加する運動会や体験会のような小さいイベントを増やしてはどうでしょうか。馴染んでくると大会やイベントに徐々に大きくなっていくこともあるので、まずは気軽に参加できるということを優先的にしていけば良いのではないのでしょうか。

会長	コミュニティーの再構築につながる良い意見だと思います。単発イベントだけだと次につながるような。ではそれは重点のどこの施策に入るのか。
委員	地域から始めて行くのは良いですね。市も計画を全てやっていたら事務的になってしまうと思います。
会長	それでは、次の委員に意見ををお願いします。
委員	まずアンケート結果については予想どおりでした。気軽にというのがキーポイント。それを具体化したい。計画時期は10年ではなく5年でちょうど良いと思います。推進委員会ではこの度ちびっこZoo体操を子どもの頃からスポーツを楽しんでもらいたいという想いで新たに制作しました。スポーツは小さい頃から関わるのが大事。町内会など小さいコミュニティーの取組を広げていきたい。市民委員会や福祉との連携などが必要で、推進委員としても考えていきたい。上富良野町からはニュースポーツの出前講座の依頼があるなど新たな動きもあります。ニュースポーツの中ではポッチャは子ども、大人、高齢者と世代間交流のできる素晴らしいスポーツで出前講座でも人気が高い。また、冬季スポーツをどうするかが一番課題と考えていて、パーサーもやっと一本化しようとしたところでコロナでダメになった。大規模大会もハーフマラソンをフルマラソン化して買物公園を走ったら良いと思います。
会長	旭川独自でどこまでできるのか。国と道と連携が必要なのか。それぞれどれだけ予算をつけられるかなど注視したい。それでは次の委員は意見ををお願いします。
委員	指導者の育成や色々な問題がある。市として10年・20年後をどのように構想しているのかわかりたい。帯広は60年計画で駅周辺の開発と、その周りにスポーツ施設と長期の計画をしていた。しかし現在ほどのスポーツ団体も厳しい。人数が増えている団体を聞いたことがない。子どもたちがスポーツに携われる環境が大事。目の前の問題で精一杯になるが長期的な視野を持って審議会を通じて注視していきたい。
会長	100年構想を語ることも大事にしたい。市も予算がないと言いつつリンクスでお金を使ったりしています。では次の委員に意見ををお願いします。
委員	私自身は運動は得意ではありません。一市民として思うのが、できる子どもはコーチから指導を受けられるが、得意じゃない子どもは外に一步もでないでゲームばかりしている。これは異常な状態。スポーツに劣等感を持つ子どもや大人をどうするか。私は広報誌をよく見て、気軽に参加できるイベントには極力参加しているが、コロナで人に会えない分、小さなイベントや講座に出たい、そんな人も沢山いると思う。この時期はアウトドアスポーツもできるので、体験してほしい。スポーツの上手な人の育成も大事だけど、言い方は悪いが底辺の人達も大事にしたい。
会長	時間もなくなってきました。それでは次の委員に意見ををお願いします。
委員	計画の内容について、具体的な取組を盛り込んでほしい。障がい者スポーツについて競技ごとで車いすを購入しなければならず、健常者のサッカーシューズは1万円で買えますが、障がい者用の車いすは30万円します。更に子どもだと成長に伴い短期間しか使用できません。障がい者スポーツの指導者の有資格者を増やしてほしいです。また、自分は文化芸術が苦手分野なので、例えば楽器を始めようとしたときに、まずどこに行けばいいのかわかりません。スポーツを始めない人も同じ理屈じゃないのかと感じます。経験者は当たり前と知っていることが、未経験者には入り口がわからないということもあります。子どものスポーツについて、児童クラブに通っている子はスポーツする機会が土日しかありません。私の子は週に一度の水泳教室だけです。週60分以上の運動をする割合を増やすには、世代別にスポーツをやる目的を考えた方が良いでしょう。小学生までは親子で、中高生は友達と、若い成人は仲間作りなどが多いのではないのでしょうか。また、冬季スポーツのNTC（ナショナルトレーニングセンター）について、4年前からずっと要望しているが進んでいません。現状はどうなっていますか。
事務局	NTCについては今年に入ってから、北海道オールオリンピアンズやスポーツ庁と協議し、検討を進めている状況です。
委員	NTCについては、早急に進めたいと札幌オリパラに間に合わないのが、危機感を持ってやっていただきたい。また、話は変わりますがスポーツ実施率の指標70%は高すぎないですか。
事務局	国の計画では70%となっており、国に近づきたいという思いから70%にしています。
委員	達成可能な指標にするべきではないでしょうか。

	会長	そうですね。根拠はないけど65%とか60%とか。そこは事務局側で再度検討してください。そしてもう時間がかかり経過しましたので、意見はまだまだあると思いますが、市にメールなどをして意見を伝えていただければと思います。
(3) その他	会長	議事第3号「その他」について、委員の皆さんから何か情報提供などありますか。
	各委員	(発言なし)
3 その他	会長	事務局からその他何かありますか。
	事務局	次回開催日(10月末から11月を予定)及び、委員の改選に伴い、近日中に所属団体若しくは個人宛に依頼をすることを説明。
	委員	事務局側で資料の送付が遅かった。また紙ベースで送付されてきたが、データで送付してほしいです。
	事務局	不手際があり申し訳ない。スマホの方でも見られるようPDF形式で送るようにいたします。
4 閉会	会長	以上で令和4年度第1回旭川市スポーツ推進審議会を終了します。